

災害への備え

9月1日は関東大震災が起きた日にちなむ防災の日です。これからは台風が多くなる時期でもあります。大切な命を守るためにできることから始めませんか。

『レスキューナースが教える新型コロナ×防災マニュアル  
コロナ禍で災害が起きて生き抜く！』 辻直美 / 扶桑社



地震や水害だけでなく、今は新型コロナ対策に頭を悩ませる方も多いでしょう。阪神淡路大震災をきっかけに被災地で活動する筆者が、感染症も災害ととらえて具体的な対策法や他の災害時の行動を分かりやすく解説。

『もしも…に慌てない登山式DE防災習慣』

鈴木みき / 講談社



アウトドアの人氣が高まっている今、登山の魅力を女子目線で発信し続ける筆者が、登山の備えは防災にも役立つと、さまざまな技をマンガで紹介。防災はもちろん、キャンプや登山初心者でも役立つ知恵が学べます。

『地震がきたらどうすればいいの？』

あかぎかんこさく・mittyyえ / 埼玉福祉会



子どもが1人でいたときに地震が起きたら？ そんな不安を軽くするために、この絵本を家族で読みながら話し合ってみてはいかがでしょうか？文字が読みづらい人でも分かりやすいように「絵文字」が付いています。

『防災のサバイバル クイズでわかる生き残り大作戦！』

国崎信江・山本典生監修 韓賢東マンガ / 朝日新聞出版



小学生に大人気の『サバイバルシリーズ』から子ども版防災ハンドブックが出版。大雨で道路が水びだしになっていたらどうする？ 防災クイズにチャレンジしながら防災の知識を身に付け、命を守る行動が学べます。

今月の新着図書

- 『学びを結果に変えるアウトプット大全』 樺沢紫苑 / サンクチュアリ出版
- 『井沢式新ニッポン風土記 西日本編』 井沢元彦 / 旅行読売出版社
- 『経済は統計から学べ！』 宮路秀作 / ダイヤモンド社
- 『脱プラスチック』 レイチェル・サルト / 日経ナショナルジオグラフィック社
- 『サラリーマン川柳いっしん傑作選』 やくみつる / NHK出版
- 『パンデミック日記』 「新潮」編集部 / 新潮社

- 『うごきえほん』 こんどうりょうへい / 福音館書店
- 『ほらふきカールおじさん』 斉藤洋 / 講談社
- 『ポッポーきかんしゃよるさんぼ』 とよたかずひこ / アリス館
- 『ぱんつくったよ。2』 平田昌広作・平田景絵 / 国土社
- 『学研まんが三国志全6巻』 羅貫中 / 学研プラス
- 『なぜ私たちは理系を選んだのか』 榎太一 / 岩波書店
- 『オイモはときどきいなくなる』 田中哲弥 / 福音館書店
- 『どうぶつせんきょ』 アンドレ・ホドリゲス / ほるぷ出版

図書館の最新情報はホームページから

図書館の最新情報やイベント情報、休館情報はホームページからご確認いただけます。



図書館HP

江山文庫読書会 与謝野晶子の童話を読む  
『私の生い立ち～嘘～』

■日時 9月24日(金) ※毎月第4金曜日  
午後1時30分～3時

■問い合わせ先 江山文庫 ☎43-2180

- 問い合わせ先 / 与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087
- 開館時間 / 午前10時～午後6時 ●休館日 / 毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)



未来の時代・社会を生きていくスキルを子どもたちに

未来の準備を教育現場で

与謝野町教育大綱を  
実現していくための考えは？

2つの考えを持っていきます。今の小中高生、園・保育児を含めて、子どもたちが生きていく時代は大きく変わっていくと思います。ICT機器、そして人工知能が非常に進化発展していくというのが、未来の世界・社会です。子どもたちが、そういう時代・社会で生きていくために必要なスキルを、少なくとも与謝野町を出ていくまでに身につけてあげたいと考えています。それが1つ目の考えです。2つ目は、離れてもふるさとを大事にできる、そういう子どもたちであってほしいと思います。しかし、現状として高校を卒業する約9割の子どもたちが一旦はふるさと「与謝野町」を離れていきます。今の時代社会は、離れていてもふるさとに貢献ができる



る時代を迎えています。高校生のときにしっかりと地域とつながること、ふるさとを大切にすることを確かなものにして卒業してほしいと考えています。

地域とつながる事業として  
高校魅力化事業に対する考えは？

京都府内初となる加悦谷高校の魅力化コーディネーターの配置は、非常に素晴らしい取り組みだと考えています。高校生が地域とつながっていく意味は、すごく大きいことです。小中学校で「ふるさと学習」を経験した子どもたちが高校に入学しますが、残念ながら従来の高校ではなかなか地域とつながる学習ができていません。つまり、小中学校で地元に対して肯定的な思いを持ちながら、高校では地域とつながる機会がない中で進路を選択していくのが今までの流れでした。魅力化コーディネーターの配置によって、高校のときに現実的に将来の仕事を含めたかたちで地域とつながることで、高校生の具体的な進路決定に良い影響を与えていると思います。そのまま地元で

就職してくれる子もいますし、一旦離れても戻ってこようと思ってくれる子もいると思います。戻ってこれなくてもふるさとを大事にするよという子たちを増やしていく意味で、魅力化コーディネーターの配置は他市町村も見習っている先駆的な取り組みであると思います。町民の皆様には見えにくい部分もあるかと思いますが、果たしている役割、また今後の与謝野町の未来に向けての成果を考えるときに大事な事業です。

最後にメッセージをお願いします

教育の目標は、一人ひとりの可能性を広げていくことだと思います。そのためには、子どもたちの努力はもちろん大事ですが、それを支えていく保護者・家庭・学校・地域・教育行政、そして町政、それら全てが同じ方向を向いてこそ可能になることだと思います。社会総がかり、町民総がかりで教育現場において、子どもたちが生きていく未来の準備を進めていければと考えています。皆様のご理解とご支援をお願いします。